

平成17年度病害虫発生予報第10号(1月予報)

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

軟腐病 (ミズイモ)

Erwinia chrysanthemi 及び *Erwinia corotovora*



被害と対策

本病は、*Erwinia* 属の2種の細菌によって発病し、地下部は塊茎の底部から軟化腐敗し、悪臭を放つ。地上部の症状はひどくなると葉や葉柄は軟化腐敗して倒伏し、ついには消失するが、地上部には症状が現れない場合が多く、収穫するまで発病がわからないことが多い。そのため試し掘りを行い、発病している場合は早めに収穫を行う。また、発病圃場は稲作などの輪作対策を行い、連作をさける。

予報の見方

発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。

「発生の程度」は平年との比較を示しています。そのため毎年その月で高い数値が続いた場合にはその月の「発生の程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にして下さい。

平成17年12月27日

沖縄県病害虫防除所